

# 市町におけるケアラー支援に向けた現状と課題及び今後必要と考えられる対応等 ～ 市町高齢者福祉・障害者福祉所管課 ～

## 資料 2

### <ケアラーの支援に向けた取組状況>

令和4(2022)年8月22日 県保健福祉部関係各課調

#### 現行の公的福祉制度における取組

##### 【介護保険制度による支援】

介護認定を受けた被保険者が、介護支援専門員（ケアマネジャー）が作成するケアプランに基づき、通所介護（デイサービス）や短期入所（ショートステイ）など、必要な介護サービスを利用することで、家族介護者の負担軽減が図られている。

##### 【障害者総合支援法（障害福祉サービス）による支援】

障害福祉サービスの支給決定を受けた方が、相談支援専門員等が作成するサービス等利用計画に基づき、障害福祉サービス（居宅介護（ホームヘルプ）、短期入所等）を利用することで、家族介護者の負担軽減が図られている。

#### 市町独自の取組（任意事業等）

##### 【地域支援事業等による支援】

- ・介護教室の開催
- ・介護者交流会の開催
- ・認知症カフェの開催
- ・家族介護慰労金の支給
- ・おむつ給付サービス 等

##### 【地域生活支援事業等による支援】

- ・日中一時支援事業
- ・訪問入浴事業
- ・介護手当（在宅で常時介護が必要な障害者の介護家族） 等

### <現行制度における運用上の課題等>

- ・介護保険等による生活支援サービスについては、家族に対する支援は法的に認められていない。
- ・低所得者等によるサービスの利用控えが見受けられる。
- ・社会資源が不足している。（利用したいときに必要なサービスが提供できない、十分な日数・時間確保が困難）
- ・夜間の在宅医療・介護サービスの限界がある。
- ・多分野で共通する課題があっても、制度の狭間で、サービスや対象者が分野ごとに区分されてしまう。
- ・就労・就学への影響がある。

### <ケアラー支援に向けて、具体的に対応を検討していることや、今後検討していきたいこと>

- ・相談窓口の周知や、他部署等との連携強化
- ・重層的支援体制整備事業の促進、多機関連携による包括的な支援
- ・関係課、関係機関に対する研修会や情報交換会の実施

# 市町における特にヤングケアラーの支援に向けた現状と課題及び今後必要と考えられる対応等

## ～ 市町高齢者福祉・障害者福祉・児童福祉所管課 ～

### <ヤングケアラーの支援に向けた取組状況>

- ・認知度向上のためのパンフレット配布、出前講座等での啓発
- ・要保護児童対策地域協議会で把握したケースについて、担当部署と連携し、負担軽減のためのサービスの利用調整
- ・高齢者宅の訪問時に家族に関する情報収集
- ・相談業務中での家族状況の把握及び障害福祉サービスの提供
- ・こども関係部署、教育委員会への情報提供
- ・養育支援訪問事業（保健指導等）
- ・子どもの居場所の紹介

### <現行制度における運用上の課題等>

- ・問題が潜在化している。
- ・教育機関との緊密な連携が必要である。
- ・利用料の負担により、利用控えが見受けられる。
- ・支援に関する地域資源が不足している。

### <ヤングケアラーの支援に向けて、具体的に対応を検討していることや、今後検討していきたいこと>

- ・スクールソーシャルワーカーの充実
- ・ヤングケアラーを含む家庭内への支援
- ・関係機関との連携
- ・家事支援等の導入
- ・ピアサポート（ピアカウンセリング）の実施